

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	胃癌手術症例における当院のデータを用いた短期成績と長期予後の検討 (B25-140)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部上部消化管外科学 教授 比企 直樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>胃癌は、世界で5番目に多い悪性腫瘍（2022年には968,350例）であり、世界中で5番目に多い癌関連死の原因です（2022年には659,853人）。集学的治療の進歩にもかかわらず、進行胃癌は依然として予後不良のままです。胃癌手術における短期治療成績や長期予後について、実臨床に利用可能なリスク因子や予後因子の報告は少ないのが現状です。</p> <p>【目的】今回、2500例という大規模なデータを用いて実臨床に則したリスク因子や予後因子を同定することを目的とします。</p> <p>当院で以前より2019年までに手術をした方を対象として研究を行っておりましたが（B19-280）、今回2025年までに手術を行った方に対象を広げて、追加研究を行います。</p>
調査データ 該当期間	2005年1月1日から2025年10月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に胃癌で当院に入院され手術を施行された方。 以前行われた研究（B19-280）で対象となっていた方。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2005年1月1日から2025年10月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の遂行のための費用は、上部消化管外科学医局研究費を使用します。</p> <p>研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：上部消化管外科学・助教 担 当 者：藤田 翔平（フジタ ショウヘイ） 電 話：042-778-8111（代表）</p>
備 考	